

西陵中学校だより

令和3年12月6日(月)

第17号

学校HPアドレス <http://www.yokkaichi.ed.jp/seiryu>

♡♡人権フォーラムが行われました♡♡

12月3日(金)西陵中学校の体育館において、水沢・小山田の両小学校の6年生を迎え、人権フォーラムが行われました。中学生と両小の小学生がグループとなり、以下の話題について意見を交換しました。

- ① 車いすに乗っている人は、一人旅は危ないからやめておいた方がいい。
- ② 親は、妹に「お茶碗のあとかたづけをなさい。」と言った。でも兄には言わなかった。
- ③ Aさんは、BさんがCさんの噂話をしているのを見た。気になったAさんは、そのことをCさんに伝えた。



一人ひとりが持つ価値観の「ものさし」。それは人それぞれによって違い、違うことは間違いではないのです。お互いの違う考えや立場を理解し合いながら、みんなにとって住みよい世の中を作っていくために努力していきましょう。このフォーラムで考えたことが、その一歩になればと思います。本紙をお読みいただいた皆さんは、それぞれの話題にどんな意見を持たれますか？

◇◇2年生はみえスタディチェックC B Tの練習を行いました◇◇

C B Tとは「Computer Based Testing(コンピュータ ベースド テスティング)」の略称で、コンピュータを使った試験方式のことです。3学期に行われるみえスタディチェックではC B T方式での試験が行われます。その練習が行われました。今後、このような方式のテストがいろいろな場面で行われることが予想されます。少しずつ慣れていきましょう。



☆☆3年生は「リテラス」を実施しました☆☆

『Literas (リテラス) 論理言語力検定』は、社会に主体的に参画し活躍するために必要な“Literacy”を身につけることで、生徒が生徒自身の未来を明るく照らしてほしい、という願いを込めた名前です。

正解のない未来を生き抜く力の礎となるのは、教科学力の土台となり、実生活で生きて働くしつかりとした言語能力と、社会課題を自分ごととしてとらえ、理解し、考える力です。『Literas 論理言語力検定』は、教科の国語をベースとしながら、社会課題を材料に「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力の育成とその測定ツールとして活用します。

社会で活躍するために必要な力を「語彙運用力」「情報理解力」「社会理解力」の3つの領域で育成・測定します。これら3つの力をまずどれか1つでも伸ばしていくことで、歯車が回り始め、言語能力の向上と社会的視野の拡大が効果的に行えることを目指しています。

☺☺保育幼稚園講演会☺☺

コロナ禍でなければ、3年生の家庭科・保育の授業の一環で地域の保育園にご協力いただき、保育実習を行っていました。しかし、残念ながら昨年度に続き、本年度も実習を中止することとなりました。

そこで、四日市市役所保育幼稚園課より平野順子さんにお越しいただき、保育についてご講演頂きました。平野さんは昨年度まで市内の



保育園で園長として勤務されており、これまでの実践の中から、園児と触れ合う様子や園での生活や学びについてお話しいただきました。

生徒からは「幼児は遊びの中で体を鍛えていることがわかった。」「保育園の集団生活の中で、社会性やコミュニケーションの仕方を学んでいることを知った。」「小さい頃の遊びを見て思い出し、懐かしい。」といった感想が聞かれました。



🌲🌳校内の巨木を伐採していただきました🌳🌲

西陵中学校も創立以来40年以上の年月が過ぎ、開校当初に植えられた樹木も大きく成長しました。台風や強風に起因する倒木や枝折れによって、生徒や近隣住民に被害が及ばないようにと、四日市市でも順次樹木の整備を進めています。

夏休みには、武道場から裏庭にかけての校地内南側に生えていた10mを超えるような樹木を整備していただきました。

また、12月1日(水)2日(木)には「みえ森と緑の県民税市町交付金」をいただき、西陵中学校林整備事業として運動場東側の巨木を伐採し、グラウンドの一部を整備していただきました。

学校敷地内の安全が一層確保されると共に、樹木に遮られていた部分にも日差しが入り、校地内が明るく爽やかになりました。ありがとうございました。



<伐採前>



<伐採中>



<伐採後>

ご迷惑をおかけします
伐採 作業
を行っています
令和4年2月29日まで
みえ森と緑の県民税市町交付金事業
西陵中学校樹木伐採業務委託
株式会社 四日市建設
施工者 盛越 実木建設